

社会福祉法人 べつかい柏の実会

就労継続支援B型事業所「柏の実学園」(別海町)

○基礎情報【経営形態：羊の飼養、野菜の栽培】

【職員数：12名、事業所利用者数：23名（知的・精神障がい者等）】



<問い合わせ先>社会福祉法人 柏の実学園
☎0153-79-5111

1 農福連携に取り組んだ経緯

平成11年に「知的障がい者更生施設」として事業開始。所有する農地を活用し、動物や農業の癒やし等を通じて障がい状況の改善（生きがいにつながる）を目的に農福連携に取り組んだ。現在は、農業分野の作業として、羊の飼養と野菜の栽培を行っている。

2 取組内容

- (1) 就労形態：就労継続支援B型事業所。自社農園（牧草地：3ha、野菜栽培：0.2ha）における羊の飼養及び野菜の栽培
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間：9:00～16:00（昼休憩 11:30～13:00、その他小休憩あり）
- (4) 利用者の作業内容
 - ①羊の飼養・・・羊舎の清掃、給水・給餌、敷わらの交換、毛刈りの手伝い、哺乳等
 - ②野菜の栽培・・・野菜（じゃがいも、かぼちゃ、たまねぎなど）の雑草とり、収穫、袋詰め等

3 取組の特徴

- (1) 約3haの牧草地に約70～80頭の羊を飼養し、職員1名と利用者4～5名が作業に従事している。障がいの程度に応じて1時間毎に15～20分程度の休憩を入れるなどの工夫を行っている。例年2月から3月にかけて出産のピークを迎える時期には、産まれたばかりの子羊を見た利用者は喜んでおり、動物との触れあいを通じて、積極的に作業に取り組む姿勢を見せるなど、非常に良い状況が生まれている。
- (2) 野菜の栽培では、0.2ha程度のほ場で、雑草とりや収穫作業に従事している。
- (3) 各利用者の長所を見極めた上で、利用者が無理なく作業に従事できる体制を整備している。
- (4) 羊肉は中標津町や札幌市内の飲食店に販売している。



羊舎の様子



放牧風景

4 施設運営の特徴

- (1) 運営する「カフェ・オーク」において、主にパンの製造・販売を行いながら、羊肉及び収穫した野菜の販売も行っている。
- (2) また、以前は、町内で開催されるお祭りや同園の学園祭などで羊肉や野菜を格安で販売（無償提供を含む）し、町民への日頃の感謝と障がい者への理解醸成を行ってきたが、コロナ禍により、町民への還元は十分に実施できていない。



カフェ・オーク

5 今後の予定や将来展望

- (1) 羊肉の販売について、更なる販路拡大を行っていききたい。
- (2) 羊毛の販売について、販路開拓を行っていききたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症が収束したら、利用者と協力して、町内のお祭りや学園祭などでの羊肉や野菜の販売を再開し、地域との関わりを強化していききたい。